

巻頭言

芸術文化観光専門職大学

学長 平田オリザ

Preface

HIRATA Oriza,

President, Professional College of Arts and Tourism

芸術文化観光専門職大学は兵庫県北但馬地方16万人の大きな期待のもと、2021年に開学しました。

戦前、日本の多くの国立大学は、強い国家、豊かな国家を築くために作られてきました。

戦後は、地域に必要とされる人材を育成するために多数の公立大学が生まれました。看護や福祉、いまは情報系などがその主流となっています。

しかし本学は、地域の明日を切り拓く大学です。いま必要とされる人材ではなく、まだ見ぬ未来を想像できる人材を育てる大学です。

専門人材を育成する「専門職大学」でありながら、芸術文化観光学という、いまだ確立されていない学問を掲げ、その「学」の完成を目指すという大いなる矛盾をはらんで本学はスタートしました。

しかしそれは、きわめて21世紀的な大学のあり方なのではないかと私は自負しています。

インターネットの時代にあって、知識や情報あるいは技術は、いつでも、どこでも、誰にでも手に入れられるものとなりました。それを前提にしながら、それでも大学で共に学ぶに値いするものがあるとすれば、それは新しい価値の創造です。

芸術文化観光専門職大学のクレドのミッションには、以下のように書かれています。

「本学は芸術文化観光学の構築を通じて、生きる喜びのあふれる共同体をインターローカルに紡ぎ出す知と行動の拠点となる」

またビジョンは、以下のようになっています。

「本学は芸術文化と観光の協働的实践を積み重ね、共同体の活力を創造し、社会実装につなげる先導的な大学モデルとなる」

それは具体的には、芸術文化観光学の確立とその実践、社会実装により但馬地域が生きる喜びにあふれた共同体となり、またその実践が、世界の地方都市に（インターローカルに）横展開していくことを指しています。

ここでは学の確立と実装は明晰な区別がありません。おそらく学の確立の過程における実装、実践と不断の検証によってこそ、それは成し遂げられるでしょう。

本学の紀要はいつも、論理、実践、研修の反復の軌跡です。多くの方に、この反復を実感していただければ幸いです。